

# 広島県感染症発生動向月報

[ 広島県感染症予防研究調査会 ]

(平成27年11月解析分)

## 1 今月のトピックス

### (1) インフルエンザワクチンの接種について

インフルエンザのシーズンが近づいてきました。インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があり、特に高齢者や基礎疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が高い方には効果が高いと考えられます。早めの接種を心がけましょう。

#### ● 接種するワクチン

A型2種、B型2種のウイルス株が混合された4価ワクチン

#### ● 留意事項等

- ◇ お近くの医療機関で予防接種を受けることができます。事前に電話などで確認をしてから受けてください。
- ◇ 65歳以上の高齢者や、60歳から65歳未満で心臓、腎臓又は呼吸器に重い病気がある方は接種費用の助成が受けられますので、お住まいの市町にお問い合わせください。
- ◇ ワクチン接種は多くの方々に重症化予防というメリットをもたらしますが、接種後、腫れや発熱などの症状が現れる方も、わずかではありますがおられます。この点を御理解いただいたうえで、個人の選択により接種を受けるようお願いいたします。
- ◇ ワクチン接種による効果が現れるまで2週間程度を要します。早めの接種をお勧めします。

※ 予防接種の詳細については、お住いの市町の予防接種担当窓口へお問い合わせください。

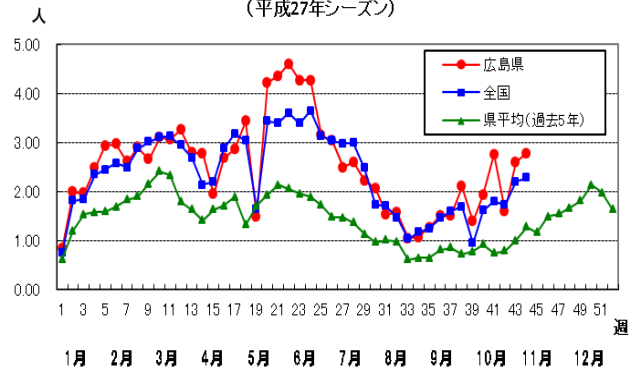
### (2) 「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」の流行に注意しましょう！！

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は冬季及び春～初夏の2つの流行がみられ、学童期の小児に最も多く発生する感染症です。

県内では5月中旬に発令した警報を8月中旬に解除しましたが、10月上旬から報告患者数に増加傾向が見られ、10月中旬に本年2回目の警報を発令しました。警報発令以降も、報告患者数が増加しており、注意が必要です。

今後も、うがい、手洗いを励行し、感染拡大の防止に心がけましょう。

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」報告患者発生状況  
(平成27年シーズン)



### 世界エイズデー「レッドリボンキャンペーン in ひろしま」の開催について

エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見をなくすことを目的に、12月1日の「世界エイズデー」に併せてエイズに関する正しい知識の普及啓発を行うため、次のとおり「レッドリボンキャンペーン in 広島」を開催します。

【日時】平成27年12月5日(土) 13時～18時

【場所】広島市西新天地公園広場(通称:アリスガーデン 中区新天地)及びその周辺

【内容】○エイズ啓発に関するパネル展示やパンフレット等啓発物品の配布

○エイズ検査(無料・匿名・迅速検査)の実施[14時～17時30分]

○HIV/エイズに関するクイズ大会やアマチュアミュージシャンの演奏など

※このイベント以外にも、世界エイズデーにあわせたイベントや無料・匿名検査を県内各地で開催します。



広島県 世界エイズデー

検索



## 2 疾患別定点情報 【速報値】

### (1) 定点把握(週報)五類感染症

平成27年10月分(平成27年10月5日～平成27年11月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	68	0.15	0.05	↑	11	ヘルパンギーナ	46	0.16	0.12	↓
2	RSウイルス感染症	440	1.53	1.17	→	12	流行性耳下腺炎	310	1.08	0.69	↘
3	咽頭結膜熱	52	0.18	0.41	→	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	700	2.43	0.92	↗	14	流行性角結膜炎	70	0.92	0.84	↘
5	感染性胃腸炎	1,380	4.79	3.55	↗	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	63	0.22	0.76	→	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.04	
7	手足口病	374	1.30	0.56	↓	17	マイコプラズマ肺炎	37	0.44	0.26	↗
8	伝染性紅斑	118	0.41	0.07	↗	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	121	0.42	0.50	→	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.02	—	
10	百日咳	8	0.03	0.08	↓						

### (2) 定点把握(月報)五類感染症

平成27年10月分(10月1日～10月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	54	2.35	2.60	↗	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	69	3.29	5.43	↘
21	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.83	0.65	↗	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	0.19	0.98	
22	尖圭コンジローマ	14	0.61	0.68	↗	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.07	
23	淋菌感染症	14	0.61	1.14	↘						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

#### 急増減疾患!!(定点当たり前比2倍以上増減)

●急増疾患	インフルエンザ	(0.05 → 0.15)
●急減疾患	手足口病	(3.64 → 1.30)
	百日咳	(0.06 → 0.03)
	ヘルパンギーナ	(0.65 → 0.16)

#### 発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

## 3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	36	結核(36)〔西部保健所(5), 東部保健所(9), 北部保健所(4), 広島市保健所(10), 呉市保健所(4), 福山市保健所(4)〕
三類	2	細菌性赤痢(1)〔広島市保健所(1)〕, 腸管出血性大腸菌感染症(1)〔北部保健所(1)〕
四類	13	A型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕, E型肝炎(1)〔福山市保健所(1)〕, つつが虫病(3)〔西部保健所(1), 広島市保健所(2)〕, レジオネラ症(3)〔西部保健所(1), 東部保健所(1), 広島市保健所(1)〕, 日本紅斑熱(5)〔東部保健所(3), 福山市保健所(2)〕
五類全数	13	アメーバ赤痢(1)〔広島市保健所(1)〕, ウイルス性肝炎(A, E型を除く)(1)〔広島市保健所(1)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(7)〔東部保健所(1), 広島市保健所(3), 呉市保健所(3)〕, 急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)〕, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔西部東保健所(1)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(1)〔福山市保健所(1)〕, 梅毒(1)〔呉市保健所(1)〕